

☆風良里の長持ち大将(賞)!!



♪ここが機関(心臓)部。手動です。



♪全部閉めたところ。



♪このひもで開閉、角度調節をします。



♪全開にしたところ。

本紙『週刊風良里』も次号で 1,000 号。19 年強の道の駅営業で施設・設備(ハード)面で一番丈夫!! と思うものをご紹介します。それは本館事務所裏口の防災スクリーン。毎日朝夕少なくとも 1 万数千回の開閉に関わらず、メンテナンスフリーで只の一度も故障なし。鍵もすり減り使用不能となり、基板(電気回路)すら何度も壊れる中で、特筆すべき高品質、頑丈さです。♪よくがんばったネ、偉いゾ!!

猫のしっぽ 発掘。1~2 年前中古の 8cm 径 CD シングル(通称 短冊)で松山千春の『君を忘れない』を入手、愛車青猫VI号のプレーヤーで聴こうとすると受けつけません。II号では聴けたのに(泣)、。

先日他の音響関連機器のストックを探す際、8cm⇒通常サイズ CD への変換アダプターを発見。こんなの買ってんだ、と思いつつ、昔の物なので使える?と恐々セットしたら、いけました。ひと昔以上前この手の CD が投げ売り(50 円位)されてた時期があり、その頃集めた名曲が色々。レベッカ『フレンズ』、スターダストレビュー『木蓮の涙』、スピッツ『ロビンソン』、中西保志『最後の雨』、加藤いづみ『好きになってよかった』、国安修二『ねえ』等々。これらがまた聴けるようになり、うれしいにゃ〜。今や音楽もデータでのダウンロードが主流、YOUTUBE でも手軽に見られる時代だけど、曲や歌として後世に残るものがあるかな?。発掘もまた楽し、ですネ。風猫子